

平成27年度
「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン
助成活動報告



平成28年4月28日
NPO法人北海道遺産協議会

平成27年度「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン 助成先一覧(計4件)

No.	遺産の名称	地域	団体名称	活動の名称	助成額
1	北海幹線用水路	赤平市	赤平アジサイロードの会	用水路沿いのサクラ植栽と「田んぼの体験活動」環境整備	390,000
2	小樽みなとと防波堤	小樽市	ウェルカム・ガーデン	ウェルカム・ガーデン	300,000
3	野付半島と打瀬舟	別海町	野付半島ネイチャークラブ	野付半島遊歩道修繕・美化活動と打瀬舟鑑賞	120,000
4	霧多布湿原	浜中町	NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原の保全林と散策路の整備事業	390,000

1. 用水路沿いのサクラ植栽と「田んぼの体験活動」環境整備

- 実施主体：赤平アジサイロードの会（岩見沢市）
- 実施団体URL：<http://www.midorinet-hokkai.jp/>（北海道土地改良区HP）
- 助成額：390,000円

ー活動内容ー

・赤平市では平成14年度より遺産に選定されている「北海幹線用水路」の景観増進と地域環境向上のためにアジサイの植栽と、平成18年度からはサクラを毎年継続して植栽しています。また、平成23年度より北海幹線沿いに水田を造成し、地元小学生を対象として「田んぼ体験学習」を実施しています。

・この度の助成活動では、10月に田んぼ周辺の環境整備を行い、10月20日には地域住民と関係機関約70名でサクラの植樹を行いました。



遺産の名称：
「北海幹線用水路」
（空知地域）



赤平市から南幌町（7市町）まで延長約80kmにおよぶ北海幹線用水路は、農業専用では日本で最も長い。空知平野の農地に水を供給するために造られ、北海道の穀倉を支える役割を果たしている。大正13年から4年で完成し、空知川から最大毎秒44tを取水。北海頭首工を起点に、美唄市には調整池が、砂川、美唄、岩見沢市市街地では親水公園が整備されている。

2. ウェルカム・ガーデン

- 実施主体：ウェルカム・ガーデン（小樽市）
- 実施団体参考URL：<https://www.city.otaru.lg.jp/>（小樽市HP）
- 助成額：300,000円

—活動内容—

- ・海の玄関口・小樽に、市民、観光客のみなさまへおもてなしを込め、ガーデニングを行っているボランティア団体です。
- ・小樽運河が現在小樽の観光として栄え発展したのも、北防波堤をつくった廣井勇博士の多大な功績です。ぜひ多くの方に「北海道遺産・小樽みなとと防波堤」を知って頂きたく、看板を制作・設置しました。



遺産の名称：
「小樽みなとと防波堤」
（小樽市）



「港湾工学の父」廣井勇により建設された北防波堤は、セイロン（現スリランカ）のコロンボ港防波堤を参考にし、独特の傾斜ブロック工法を採用した日本初の外洋防波堤。ケーソン工法を取り入れた島防波堤とともに、今も現役で機能している。防波堤に守られた小樽のみなとは北海道移住の玄関口となり、また物流拠点、貿易港として、商都・小樽の繁栄を支えている。

3.野付半島遊歩道修繕・美化活動と打瀬舟鑑賞

- 実施主体：野付半島ネイチャークラブ（別海町）
- 実施団体URL：<http://notsuke.jp/>（野付半島ネイチャーセンターHP）
- 助成額：120,000円

一活動内容一

- ・平成26年12月の爆弾低気圧による高潮により、半島内の遊歩道、木道は大きな被害を受けました。当クラブやボランティアなどの協力により、大部分は片づけられましたが、看板などの一部が破損したままでした。
- ・これらの修繕と野付半島を訪れる観光客に、より使いやすくわかりやすい遊歩道の設備を実施しました。また、秋に行われる打瀬舟での北海シマエビ漁の様子を小型の伝馬船を使い、会場から間近に観察しました。

**野付半島ネイチャークラブ
観察会のお知らせ**

伝馬船で北海しまえび漁観察！

野付湾の産物「打瀬舟で北海しまえび漁」。北海道産に指定されているこの産物も、伝馬船の上から間近に観察します。

日時：10月24日（土）、28日（水）
各8：30～9：30、10：30～11：30
の2回づつを予定。

集合：別海町観光案内所
各20分前

参加費：1,000円

持ち物：白羽（防寒）、長靴、手袋、帽子など
お持ちの方はカメラ

※北海しまえび漁の状況等で変更になる場合があります。
※打瀬舟が見られるとは限りませんのでご了承ください。
参加希望の方は、上記日程で参加可能な日をお知らせください。
乗り合わせをこちらで調整いたします。

雨天中止
参加をご希望の方は10月22日（木）15：00までに
お申し込みください。

●お申込み・お問い合わせ●
野付半島ネイチャークラブ事務局（野付半島ネイチャーセンター内）
〒086-1645 北海道野付郡別海町野付63番地
TEL 0133-62-1270 FAX 0133-62-1296
E-mail notsuke@notsuke.or.jp

今夏の観察会体験講座「水産で北海道を美しくキャンペーン」の
助成を受けて実施いたします。



遺産の名称：
「野付半島と打瀬舟」
（別海町、標津町）



全長26kmの日本最大の砂嘴（さし）で、擦文時代の竪穴式住居も見られる。江戸時代には国後へ渡る要所として通行屋が設けられ、北方警備の武士も駐在しました。トドワラ、ナラワラの特異な景観や、春と秋に野付湾に浮かぶ打瀬舟の風景が多くの人々をひきつけている。北海シマエビ漁に用いられる打瀬舟は野付湾の風物詩として知られ、霧にかすむ舟影は幻想的。



4.霧多布湿原の保全林と散策路の整備事業

- 実施主体：NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト（浜中町）
- 実施団体URL：<http://www.kiritappu.or.jp/>
（NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト）
- 助成額：390,000円

—活動内容—

・霧多布湿原は3168haの面積のうち、中心部分が天然記念部エリアとして、また当NPOが海岸周辺の土地をナショナルトラスト運動により取得し、それぞれが保全されています。

・霧多布湿原の保全において、次の段階として水源地の森林保全が必要とされていることから、当NPOが取得をした森林の間伐や散策路の整備、水源地の森林の整備を行いました。これらの活動で湿原への土砂の流入を防ぎ、散策路を整えた事で地域の子ども達や旅行者へ、北海道遺産である霧多布湿原の重要性をより安全に伝える事が可能となりました。



遺産の名称：
「霧多布湿原」
（浜中町）



湿原景観を構成するすべての要素が一望できる学術的にも貴重な湿原。一部は「霧多布湿原泥炭地形形成植物群落」として大正11年に天然記念物に指定され、数百種の高山植物が自生している。春から秋にかけて咲く花々の美しさを楽しみ、タンチョウや白鳥など百種の野鳥も観察できる。地域では湿原保全のナショナルトラスト活動が積極的に展開されている。